

技の肖像

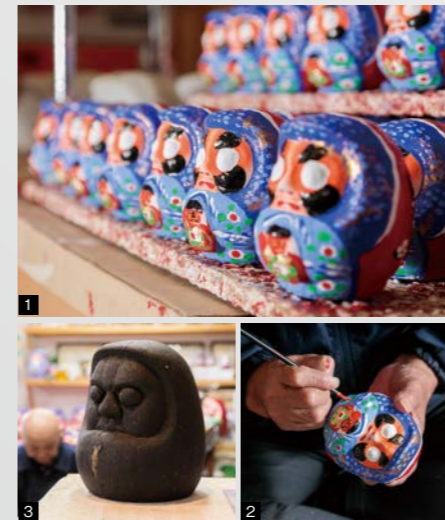


松川だるまに絵付けをする本郷久孝さん。工房には大小様々なだるまが並び

張子師

古くから仙台で庶民に親しまれている「松川だるま」は、顔周りの群青と金粉の縁取り、胴に施された色鮮やかな宝船や福の神の浮き出しが特徴である。大きく開いた黒目が無病息災、家内安全を四方八方から見守り、何度倒れても起き上がり祈願成就へと導く縁起物として、家や店舗などの神棚に祭られている。

松川だるまに代表される仙台張子は、天保年間（1830～1844年）に伊達藩士の松川豊之進によって創始されたと伝えられる。その後、松川氏に弟子入りした本郷久三郎が木型を受け継ぎ、子孫が脈々と技と伝統を守ってきた。目や髭、口元は、昔から男性が筆を入れてきたといい、現在は十代目の久孝さんが筆を執り、慣れた手つきで描き入れている。「それぞれのだるまのバランスを見極め



1. 最近ではリビングや玄関などでも飾ることができる小型のだるまが多く作られているという 2. 久孝さんから職人の筆によって、色鮮やかなだるまの彩色が施されていく 3. 初代久三郎が受け継いだ松川だるまの創始から使われる木型。今でも大切に使われている

ながら一番合った顔を描き入れています。だから、同じ木型で作っただるまでも、よく見ると一つ一つ顔立ちが違うんですよ」
こう話す久孝さんは、物心ついた頃から家業のだるまづくりを手伝ってきた。
木型に和紙を重ね張りして体を作り、天日に干して乾燥させる生地づくり。貝殻を焼いて作った白い顔料を塗る「胡粉塗り」やその上に施す「赤塗り」。そして、顔の部分や装飾を描き入れる「絵付け」など、作業を手伝いながら見よう見まねで技を習得していったという久孝さん。「ほとんどの工程は今でも手作業で行われています。だるまを手にした人の健康と幸福を念じながら心を込めて作っています」と語った。
180年以上にわたり、松川だるまを守り続ける本郷家。正月に向け、だるまづくりは最盛期を迎えていた。

問い合わせ
仙台張子 本郷だるま屋

仙台市青葉区川平 4-32-12
TEL 022-347-4837

Report 技能士を育てる。

宮城県内の企業には、優れた技術を持つ多様な技能士が活躍する。宮城のものづくりを支える匠たちを、企業がどのように育て、技を伝えているのかを紹介する。

有限会社白石木工 (大衡村)

1989年設立。手加工や機械加工でオーダーメイドの木製家具や建具を作り上げる職人集団を擁する。全国各地からの依頼を受け一般住宅・店舗・大型ショッピングモールなどで使われる特注家具の設計・製造・施工まで幅広く手掛ける

有限会社白石木工では、若い職人の育成を図るため、独自の手法を用いた知識や技能の習得に力を入れている。毎日行われる朝礼では、社員が家具や建具の手加工や機械加工などについて学ぶ勉強会を実施。熟練職人が経験談を交えながら解説し、これまで培ってきたノウハウを社内でも共有する。また、若い職人に対し技能士資格の取得を積極的に推奨し、受検に必要な手続きのサポート、実技試験練習の場や材料の提供、資格取得者による指導などでバックアップしている。「技能士資格の取得は、若い職人にとって大きな自信と仕事へのモチベーションアップにつながっています」と専務取締役の白石将美さんは話す。

さらに、宮城県の卓越技能者（宮城の名工）を講師に招き、技能講習会を開催。受講者を県内外から受け入れている。「若い職人の不足は、業界全体が抱える大きな課題です。こうして企業や組合の枠を外した、人材確保と技能伝承の取組を始めて5年目。県内で技能検定受検者が増加するなどの効果が表れています」と代表取締役会長の白石善章さんは笑顔だ。技能講習会は、「若い職人にとって貴重な情報交換や交流の場にもなっています」と白石会長は話した。

木の温もりを届ける家具・建具職人

技能士 MEMO

建具製作技能士

建具製作に必要な知識や技能を持つことを証明する国家資格を有する者。検定試験区分は、木製建具手加工作業と木製建具機械加工作業、アルミ製室内建具製作作業にそれぞれ分かれる。

家具製作技能士

家具製作に必要な知識や技能を持つことを証明する国家資格を有する者。検定試験区分は、家具手加工作業と家具機械加工作業、いす張り作業にそれぞれ分かれる。

企業情報

所在地：黒川郡大衡村大衡字北原 30-1
TEL 022-393-7380
FAX 022-393-7381
<http://www.s-woodworks.com/>



事業内容：特注家具・建具の設計・製造・塗装・施工、店舗設計

技能士数：のべ12人（2017年9月現在）

技能職種：建具製作・家具製作



1 2級家具製作技能士の西村優太さん。「図面を見て思い描いたイメージが、実際に形になった時の達成感やうれしさはとても大きい」と話す 2 欄間（らんま）や障子（しょうじ）に使われる組子（くみこ）技術。熟練の建具製作技能士の手によって繊細な模様が生まれる 3 代表取締役会長の白石善章さん 4 専務取締役の白石将美さん